



第32回鬼貫顕彰俳句 小学校・中学校の部 受賞者決定

小学校低学年の部

なのはなはどんだんさいてひろがって 島長 湊 さん（花里小 3年）

小学校高学年の部

帰ってく海の底まで夕焼けが 福田 蘭子 さん（緑丘小 6年）

中学校の部

母の腕晩夏に気付くたくましさ 酒井 優 さん（北中 3年）
（ ）内は、受賞当時の在籍校・学年

令和5年度教育基本方針（要約）

はじめに

一 今の時代

異常気象や新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など、誰も想定していなかった出来事が続いています。これからの世代は、地球の温暖化や世界の分断など人類の存続に関わる難問に立ち向かっていかななくてはなりません。

二 重点的な取組

① 主体性の育成

言われたことを真面目に取り組むことは大切なことです。が、それだけでは、先行き不透明な答えのない時代を生き抜くことはできません。

学校においては、教師主導の一斉授業から脱却し、子どもたちが学びの主体となる「主体的・対話的で深い学び」を推進します。また、家庭においては、「計画的に学習に取り組む習慣」の育成に力を入れます。

② 自尊感情の育成

自信は人生のカギであり、自分に自信が持てるようになると、新たなことに挑戦する姿勢が生まれ、困難なことに遭遇しても粘り強く取り組むことができるようになります。「自尊感情」は、自らの生き方を通して自ら獲得していくものであり、「現状を直視するかしないか」「目標を持つか持たないか」「考えるか考えないか」の選択において、常に前者を意識した生き方ができるよう支援します。

③ 「子どもの最善の利益」を視野に入れた教育の推進

全国的にいじめの重大事態や不登校児童生徒が増加傾向にあること、「いじめ防止対策推進法」や「教育機会確保法」、「子ども基本法」が施行されたこと等を受け、12年ぶりに「生徒指導提要」が改訂されました。児童生徒が自分らしく生きることができるよう、学校行事の実施や不登校・いじめへの対応、校則の見直し等において「子どもの意見」を尊重するなど、教師の一方的な働きかけから、子どもの自発的かつ主体的な成長を支える指導へとシフトします。

④ 中学校における休日の部活動の地域移行

急激な少子化の進行により、このままでは、近い将来、部活動が存続の危機に陥ることは間違いありません。子どもたちが将来にわたり、安定してスポーツ活動や文化芸術活動に携わることができる体制を築くために、「休日の部活動の地域移行」に段階的に取り組みます。

教育施策の推進における基本方針

前年踏襲でなく、社会の変化や子どもの変化を視野に、常に「物事の本質」に立ち返り実施します。全ての教育活動において、

①「良くても悪くても現状から目をそらさないこと」

②「幼児期から高等学校までの『縦の連携』と、学校・家庭・地域などの『横の連携』を大切にすること」

③「教育情報を積極的に発信すること」

を基本方針に本市の教育を推進します。

結びに

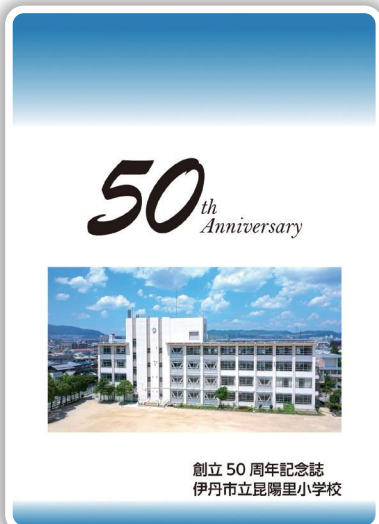
令和5年4月には、「こどもまんなかの社会の実現」を最重要コンセプトに「こども家庭庁」が発足します。子どもは、国の宝であり我が国や本市の将来は子どもにかかっています。

子どもたちが、次代を担う有為な人材となるためには、主体性や自尊感情を育てるとともに、自分の存在が丸ごと受け入れられ、安心して過ごせる「居場所」が不可欠です。

そのために、子どもを取り巻く全ての大人は、心から安らげる家庭や、安全に思いっきり遊べる公園、知的好奇心を刺激する学校や図書館などの整備に努めなければなりません。何よりも、大人の「見守る・待つ・寄り添う」姿勢が大切です。



伊丹小学校 150 周年記念航空写真（株）国際総合企画



昆陽里小学校 創立 50 周年記念誌表紙

令和5年度
基本方針本文は
こちらから



第6回
伊丹市学校給食
献立コンクールを実施

市教育委員会は昨年度に引き続き、子どもの学校給食に対する意識を高める取り組みとして、市内小・中学生を対象に「学校給食献立コンクール」を実施しました。

栄養バランスを考え、地元産食材を盛り込むなど、創意工夫した給食献立が多数応募されました。応募総数は1686点で、審査の結果、小学校の部15作品、中学校の部15作品の計30作品が入賞作品に選ばれました。

小学校の部では池尻小学校5年の河野七海さん、中学校の部では南中学校3年の矢野智識さんの献立が最優秀作品に選ばれ、令和4年2月の学校給食でそれぞれ実際に提供されました。

子どもたちは、最優秀作品の献立を一口一口味わって食べていました。今後も学校給食を活用し、食育の充実を図ってまいります。



池尻小学校
河野 七海さん

小学校

・とん汁うどん



南中学校
矢野 智識さん

中学校

・ごはん
・スパイス香る中華風カレー
・シャキシャキもやし中華サラダ
・りんご



はぐくみ

教育委員・西岡奈美

レイマンであること



教育委員を拝命して早2年になります。小さいころから教員に憧れがあったものの、実際に教育に携わった最初の会議は、右も左もわからず、まるで外国語を聞いているように思えました。しかし様々なことを学ばせていただきながら職務を行うことで、少しばかり教育委員会の仕組みや教育について理解できるようになってきました。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員※1で構成されています。政治に偏った教育がなされることを防ぐために、知事や市町村長から独立した執行機関として全ての都道府県及び市町村等に設置されています。また一般市民のニーズを適切に施策へ反映させるために、レイマン※2コントロールという仕組みが取り入れられています。なかなか保護者の方にとって縁遠い存在ではありますが、学校単位では決定できないことを支援し、学校を中立的に指導・監督する立場にあります。例えば学校を設置すること、先生の人事や研修、校舎の整備、学校で使用する教科書選びなどの重要な決定をします。そのほか、図書館やスポーツ施設の活用、家庭教育の啓発について考えたり意見したりすることも仕事の一つです。その決定や意見交換を各種会議で行うために必要な研修受講や訪問を随時行っています。その教育委員の職務を行う上で、私がとても大切にしていることがあります。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員※1で構成されています。政治に偏った教育がなされることを防ぐために、知事や市町村長から独立した執行機関として全ての都道府県及び市町村等に設置されています。また一般市民のニーズを適切に施策へ反映させるために、レイマン※2コントロールという仕組みが取り入れられています。なかなか保護者の方にとって縁遠い存在ではありますが、学校単位では決定できないことを支援し、学校を中立的に指導・監督する立場にあります。例えば学校を設置すること、先生の人事や研修、校舎の整備、学校で使用する教科書選びなどの重要な決定をします。そのほか、図書館やスポーツ施設の活用、家庭教育の啓発について考えたり意見したりすることも仕事の一つです。その決定や意見交換を各種会議で行うために必要な研修受講や訪問を随時行っています。その教育委員の職務を行う上で、私がとても大切にしていることがあります。

教育は学校だけでは成り立ちません。また子どもだけに行われるべきものでもありません。人生100年時代、人としてより良い人生を生きるために、学校、家庭、地域が三位一体となって人生を通した教育を行い、持続可能な社会にしていけることが重要です。

学校、家庭、地域。どの立場にも当てるはまる私はそれぞれの立場の橋渡し役ができると思っています。教育の世界は現在、コロナをはじめ、休日部活動の地域移行、不登校児童生徒の増加、教員不足等の課題も多くありますが、その課題を皆で一緒に乗り越えるために、これからも超レイマンとして意見を、伊丹の教育に尽力して参ります。

※1他自治体は人数が違つこともあります。

※2レイマンとは一般に「素人」と訳されます。ここでは、教育や教育行政の専門家ではないという意味で使用しています。

地域学校協働活動

～子どもたちの学びを豊かにする～
『土曜学習』&『学校支援ボランティア』



土曜学習の様子



学校支援ボランティア活動の様子

『土曜学習』
伊丹市では土曜日の子どもたちの豊かな教育環境の実現をめざし、市内全小・中学校(25校)で『土曜学習』を年10回程度実施しています。『土曜学習』の特徴は、さまざまなプログラムを通して「学校の授業では体験できない経験」や「地域住民や大学生、企業の方など、幅広い人々との交流」ができることです。『土曜学習』では、地域・学校・企業などの多様な人材の協力を得て子どもたちの学びを支えています。

『学校支援ボランティア』
地域住民が学校の要望に応じて子どもたちの学校生活を支える活動です。具体的には学校図書館の整備や読み聞かせ、花壇の整備・管理、樹木剪定、学校掲示板の飾り、授業や部活の補助等でボランティア活動をしています。子どもたちが気持ちよくのびのびと過ごせるように環境整備を行っています。

ボランティア募集中！
～あなたの力を
子どもたちのために～

『土曜学習』や『学校支援ボランティア』で活動してくださるボランティアを随時募集しています。子どもたちの笑顔に触れる機会です。ぜひ気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】
社会教育課
☎072-764-7814

だんらんホリデー

毎月第3日曜日は「家庭の日」だんらんホリデーです。



家庭教育キャラクター
フローバーちゃん

毎月第3日曜日は「家庭の日」だんらんホリデーです。子どもと一緒に過ごしたり、家族団らんの機会を進んでつくりたりするなど、市民みんなが家庭や家族について改めて考える日です。市内施設の無料開放を実施しているほか、多数の協賛店に割引などのサービスを提供いただいておりますので、ぜひご家族でご利用ください。詳しくは、伊丹市ホームページ・だんらんホリデーのチラシ(毎月発行)をご覧ください。

だんらんホリデーをきっかけに、毎日の家族団らんへと繋がってみませんか。

早寝

早起き

朝ごはん

子どもの健やかな成長には、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠をはじめとした規則正しい生活習慣が大切です。子どもたちの健やかな成長を願い、改めて「早寝早起き・朝ごはんの大切さ」について考えてみませんか。



教育委員会賞等被表彰者

令和4年度伊丹市教育委員会賞、ふれあい教育賞、伊丹市優秀教職員表彰、伊丹市児童・生徒顕彰 受賞者決定

伊丹市教育委員会賞・ふれあい教育賞

教育・文化・スポーツの振興に功績のあった方々に贈られる「伊丹市教育委員会賞」、ボランティア活動などで貢献された方に贈られる「ふれあい教育賞」の受賞者が決まりました。(順不同・敬称略)

●教育委員会賞(団体)

▽市立荒牧中学校 男子バレーボール部▽市立南中学校 ソフトボール部▽兵庫伊丹ヤング▽伊丹スポーツセンター なぎなた教室▽市立伊丹高等学校 なぎなた部▽県立伊丹高等学校 弓道部

●教育委員会賞(個人)

▽勇 煌太郎(伊丹小・ボクシング)▽白井悠生(稲野小・空手)▽加藤 正永(神津小・相撲)▽竹谷 綾(緑丘小・なぎなた)▽磯月華(緑丘小・バドミントン)▽西川 陽斗(天神川小・マスコット名コンテスト)▽立石ひなた(天神川小・統計)▽堀古 有香(天神川小・バドミントン)▽是井 一栄(天神川小・ボクシング)▽坂田 千花彩(笹原小・なぎなた)▽甲把 辰仁(瑞穂小・武術)▽山野 遥加(有岡小・ローラースポーツ)▽丸山 桃代・深井 優菜(鈴原小・なぎなた)組▽益山 さら(鈴原小・バドミントン)▽榎本 弥音(萩野小・けん玉)▽千田 芽依(東中・なぎなた)▽千田 芽依・竹谷 紗奈(東中・なぎなた)組▽水口 奈美希(西中・テニス)▽青野 らん(西中・バトン)▽長谷 沙紀(西中・水泳)▽角間 美織(南中・なぎなた)▽永山 銀次郎(北中・ボクシング)▽孫田 太陽(天王寺川中・バドミントン)▽福嶋 遙(天王寺川中・陸上)▽立花 舞乃(松崎中・テニス)組▽横原 凜・立花 舞乃(松崎中・テニス)組▽本田 翔輝(松崎中・野球)▽藤川 乃愛(松崎中・水泳)▽是井 一斗(荒牧中・ボクシング)▽高橋 央太郎(笹原中・テニス)▽高田 遥稀(市立伊丹高・なぎなた)▽高田 遥稀・島本 春音(市立伊丹高・なぎなた)組▽阿比留 月乃(市立伊丹高・なぎなた)▽阿比留 月乃・鎌田 幹来(市立伊丹高・なぎなた)組▽高田 遥稀・高田 愛稀(市立伊丹高・なぎなた)組▽阿部 堅真(市立伊丹高・珠算)▽坂上 祐輝(県立伊丹高・なぎなた)▽永井 温(卓球▽河加藤 作子(水泳)▽荒井 祭里(飛込)▽深河 正(バウリフティング)▽前川 元(自転車)▽仁井田 さよ子・前田 澄子(卓球 組▽中畑 友里(フットボール)▽杉浦 壮思(なぎなた)▽ケットボール)▽杉浦 壮思(なぎなた)▽上山 絃輝(陸上)▽梅原 紗月(陸上)

●ふれあい教育賞(個人)

▽阪部 豊和(学校・地域社会への協力、ボランティア活動を献身的に行い、その発展に多大な貢献。特に廃品回収・環境美化・土曜学習校区コーディネーターとしてイベント企画等、児童への教育に貢献)▽乾 道広(園児への栽培活動の指導、畑の管理や園庭の環境整備、樹木の剪定、飼育動物の世話などを通して、園児の動植物への興味関心を高めることやいたわりの気持ちを育むことで、幼稚園教育に貢献)

●ふれあい教育賞(団体)

グリーンボランティア きらら(校内の樹木の剪定などの葉刈り活動や校庭の清掃、花壇の花の植え替えや水やりを精力的に行い、児童の憩いの場所を提供するとともに、学校の環境美化に貢献)▽図書ボランティア「ドッガイア」(子どもたちの読書に対する興味関心を高めるため、読み聞かせ等の活動を継続して行い、子どもに本を読む楽しさを伝えるため、「ハロウィン」「クリスマス」等のイベント等も企画。子どもたちの読書活動の活性化や図書環境整備に大きく貢献)

伊丹市優秀教職員表彰

学校教育活動において教職員の模範となる取組を行い、優れた成果をあげた教職員を対象に表彰しました。(順不同・敬称略)

内藤 久理子(笹原小・学校保健、学校給食指導)
坂上 康子(萩野小・生徒指導、進路指導)
亀山 知佐(北中・研修、研究活動)

伊丹市児童・生徒顕彰

各種検定・技能資格等の取得において他の模範となる優れた成果を取った市立学校に在籍する児童・生徒を対象に顕彰しました。(検定により顕彰の基準は異なります。)

英語検定…準1級Ⅱ3名、2級Ⅱ7名、準2級Ⅱ125名、3級Ⅱ33名
漢字検定…準1級Ⅱ1名、2級Ⅱ4名、準2級Ⅱ31名、3級Ⅱ7名
数学検定…準1級Ⅱ1名、3級Ⅱ1名、5級Ⅱ1名
珠算・暗算検定…有段者Ⅱ5名、1級Ⅱ11名
World文書検定…3級Ⅱ1名
ビジネス文書実務検定…1級Ⅱ2名
情報処理検定…1級Ⅱ1名
簿記実務検定…1級Ⅱ35名
珠算・電卓実務検定…1級Ⅱ2名
全商英語検定…1級Ⅱ2名

(令和5年3月10日現在 延べ248名)

第5回

伊丹で
みつける
・
さぐる
・
かんがえる

図書館を使った調べる
学習コンクール開催!

知りたい事や解決したい事を、図書館などで調べた作品を募集するコンクールを開催しました。夏休みには、図書館での調べ方やまとめ方を学ぶ講座や、実験と調べる学習を組み合わせた「エンジンこづい」「ガリレオこづい」を近隣の企業等と連携して開催し、多くの参加者が調べる楽しさを体験しました。楽しみながら調べた事が伝わる力作が集まり、10月にはことば蔵で表彰を行いました。全国コンクールに推薦した「防災」や「魚へん」をテーマとした2作品は佳作となりました。今年も作品を募集する予定です。ぜひ、ご応募ください。

<表彰式の様子>



(令和4年10月29日ことば蔵にて撮影)

<入賞した作品は市内の図書館で展示>



(令和4年12月2日ことば蔵にて撮影)

図書館の
インターネットサービスが
全年齢で使えるよう
になりました!



PCやスマートフォンから本の貸出状況や延長・予約などができる「インターネットサービス」が全年齢で使えるようになりました。ご利用にあたっては、図書館で仮パスワードを発行しますので、本人確認ができるものと利用券をお持ちください。また、MYライブラリの新機能として「読書チャレンジ機能」が加わりました。目標読書冊数と期間を登録し、達成度をネット上で管理することができます。伊丹市のマスコットキャラクター「たみまる」がチャレンジをサポートします。ぜひ、ご利用ください!

ことば蔵ビブリオバトル部
Bibliobattle of the
Year 2022優秀賞受賞

ことば蔵で活動する「ビブリオバトル部」が、ビブリオバトル普及委員会によるBibliobattle of the Year 2022の優秀賞に選ばれました。ビブリオバトルとは、読んで面白かった本を持ち寄り、1人5分間の本紹介と2、3分間のディスカッションをとおして「どの本が一番読みたかったか」を投票し、最多得票の本をチャンプ本とする「知的書評合戦」です。ビブリオバトル部は、全51の個人団体の活動の中から「優秀賞」に選ばれました。受賞の理由は、10年に渡ってビブリオバトルを定期開催し、コロナ禍においてもオンラインツールを活用して継続してきたこと。また、公募で集まった部員と図書館が協力しながら、毎回テーマを設定するなど独自の取り組みを続け、ビブリオバトルの普及に寄与してきたことが評価されました。活動の様子はことば蔵ホームページ内で閲覧できます。

ビブリオバトル部が 市内中学校の各校代表 による「ビブリオバトル中 学生大会」を令和4年11月 に3年ぶりに開催しまし た。今年は6名のバトル が参加し、個性あふれる本 の紹介が繰り広げられ、聴 衆はその本の世界観に引 き込まれました。後半は、 「ビブリオバトル普及委

員会理事の益井博史さんより「中学生に向けたビブリオバトルの楽しみ方」をテーマに、ビブリオバトルを日常的に実施することで、読書週間が身に付き、スピーチ経験が積み、未知の本や魅力的な人に出会えるといったお話をいただきました。



(令和4年11月5日ことば蔵にて撮影)
参加バトルーと益井さん(右端)

スポーツ・フオー！オール伊丹の実現へ 市スポーツ推進計画中間見直し

平成30年3月に策定した「伊丹市スポーツ推進計画」について、昨今の社会状況に応じて、中間見直しを行いました。今後5年間で、子どもや高齢者など、対象に応じたスポーツ機会の提供や、スポーツクラブ21の運営体制の強化支援、中学校部活動の地域移行に向けた環境整備等を行います。市民の皆様が広くスポーツに親しめるよう、スポーツ団体や学校、事業者と連携し、市民の皆様と共に計画を進めます。



また、スポーツ振興課では、誰でも気軽に行えるニュースポーツ用具の無料貸出や、いたっボール等の出前講座も引き続き実施します。スポーツを始めるきっかけづくりにぜひご利用ください。

スポーツの日のつどいを 3年ぶりに開催しました！

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされていた「体育の日のつどい」ですが、今年度から「スポーツの日のつどい」と名称を改め、3年ぶりに開催し、幼児から高齢者まで延べ7701人の方にご参加いただきました。今年度は、ニュースポーツ等の体験会に加え、東京2020オリンピックでも話題になったスケートボードの体験会を初めて開催し、整理券がすぐなくなるほどの人気ぶりでした。来年度も、新型コロナウイルス感染症等の対策を講じながら、スポーツを楽しんでいただけのイベントを行います。



南アフリカ人民との友好交流視察(1992年2月)の思い出

池田 千津美

もう30年程前、左足骨折での車いすや松葉づえ生活、また仕事や解放運動の取り組みの多忙で大変な時期だったが、幸いにも南アフリカに視察に行く機会に恵まれた。プレトリア、ヨハネスブルク、ケープタウンなどの都市の訪問やネルソンマンデラ夫人との出会いもあった。日本から持ってきたマシナさん(黒人差別と闘う組織の代表)の似顔絵と寄せ書きと盆踊りのうちわを、踊る手ぶりをしめて渡すと大爆笑。体全体からにじみ出る逞しさは、マンデラさんと同様、何回も刑務所に入れられ、闘い抜いた中から身に付けたものかもしれない。

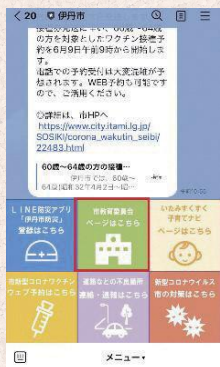
また、アリスさんをはじめ同行してくれた黒人の人達の優しさや温かさを今でも思い出す。世界一と言われたケープタウンの夜景を見ながら、アリスさんが私の手を引き、島の灯りを指差し、「あそこは心が傷む、私のふる里です。」と言った。それは、マンデラさんが30年以上、アリスさんが10年間入っていた刑務所のあるロビン島の灯りだった。最後の晩餐会で、32歳のズワイさんが、ANC(アフリカ民族会議)で奨学金を受けながら大学に通い、黒人差別のために頑張ると誓ってくれた。あの青年達の輝きを忘れないで、解放運動に徹することを自らも誓った。

教育の広報について (お知らせ)

〇教育情報誌「すくすくぐんぐん伊丹っ子」、教育広報紙「教育いたみ」は市のホームページにも掲載しています！

市教育委員会では、毎年、「すくすくぐんぐん伊丹っ子」(7月・12月)や「教育いたみ」(3月)を通じて、教育施策や教育情報を発信しています。

- ・「すくすくぐんぐん伊丹っ子」は、主に市立学校園児・児童・生徒や保護者を対象に、学校園および就学前施設における方針、活動内容や子どもに関わる講座等を掲載しています。
- ・「教育いたみ」は、伊丹市にお住まいのみなさまに向けて、当該年度の主要事業や学校園の周年行事等、一年間の教育関連情報を幅広く掲載しています。



伊丹市の公式LINEからも教育委員会のホームページにアクセスできますので、ぜひ登録を！

書の部

市長賞 作品名「飛龍乗雲」
西中3年 豊田 航大(とよた こうだい)



絵画の部

市長賞 作品名「アニミズム」
東中3年 宮川 由愛
(みやがわ ゆあ)



「第20回伊丹子ども市展」の入賞・入選作品が決まりました。

絵画・書の2部門に計782点の応募があり、うち525点が入選となりました。入賞・入選作品はスワンホールで展示されました。

相談窓口の案内

子どもと保護者の悩み相談…少年愛護センター

(電話相談) 平日：午前10時～午後5時半

☎072-770-8742(電話相談) / ☎072-780-3540(来所相談) (来所相談) 平日：午前10時～午後5時 ※予約制です。

学習、友人関係、いじめ、家族関係、不登校、問題行動…なんでも気軽に相談を。

教育相談…総合教育センター

(電話相談) (来所相談)

☎072-772-6171(電話相談) / ☎072-780-2484(来所相談) 月曜・火曜・木曜・金曜：午前9時～午後6時
水曜・土曜：午前9時～午後5時

お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。